

国立病院機構熊本医療センター

くまびょうNEWS



『ワン・チームで緩和ケア』

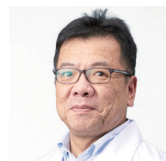


【特集】

緩和ケアチームのご案内

- VOICE
- 医学シリーズ 救命救急科
- エジプトでのC型肝炎の現状に関する視察報告 (JICA)
- くまびょう TOPICS
- 研修医レポート
- 研修日程表
- 外来担当医名簿

患者さまをお待たせしないためにご紹介は、
外来紹介予約センターをご利用ください。



熊本医療センター
 地域医療連携室室長
 菊川 浩明



096-353-6565
 096-353-6566

FAX 096-353-6563

受付 平日8:30~17:00

国立病院機構熊本医療センター 外来紹介予約センター

独立行政法人国立病院機構
熊本医療センター
 National Hospital Organization Kumamoto Medical Center



熊本医療センター 検索 ホームページ QR コード ▲

1. 緩和ケアチームとは

がんと診断された時から、患者さま・ご家族の身体や心のつらさ、生活上の困りごとに対して、主治医や病棟・外来看護師と協力して、安心して治療や療養を受けられるようにお手伝いするものです。ご入院中、外来通院中の患者さまやご家族皆様に対して活動しています。

・従来の緩和ケアの考え



・現在の緩和ケアの考え



2. 活動内容

- 病気や治療に伴う痛みや吐き気などの身体的症状への対応
- 不安や心配、不眠への対応
- ご家族の心配等に関する相談対応
- 退院後の生活・介護に関することや緩和ケアの入院に関すること
- 医療費など経済的なこと など



ラウンドの様子

3. 緩和ケアチームのメンバー紹介

緩和ケアチームには医師（麻酔科・放射線科・精神科・内科）、歯科医師、看護師（がん関連の認定看護師・がん看護専門看護師）、薬剤師、理学療法士、栄養士・心理士などさまざまな職種のメンバーがいます。それぞれの得意分野を生かして がん治療に伴って生じる様々な症状・精神的なつらさへの対応、利用できる社会的制度の紹介、薬剤の使い方の指導などを行っており、各診療科を横断して活動しています。

外来でも入院でも対応は可能です。担当の医師・病棟看護師や各科外来の看護師にご相談いただければ私たちに連絡が取れるようになっていきます。私たちが中心になるのではなく、原則各科主治医の先生の診察と並行して活動させていただきます。



4. 合同カンファレンス

現在、緩和ケアチームは主治医や病棟看護師・外来看護師と一緒に合同カンファレンスを行っています。患者さま・ご家族の現状から問題となっている点や困難となっている点などを挙げて、一緒にカンファレンスを開催し多方面から患者さまの最善の治療やケアを検討しています。

様々な職種や他病院の緩和ケア病棟の医師や看護師、訪問診療や訪問看護を行っているスタッフの方も一緒に参加していますので、今後の療養先まで密に考え、問題点などをアセスメントして対応しています。



日時：毎週木曜日、16：00～17：00の間
参加：主治医、担当病棟・外来看護師、
緩和ケアチームメンバー、他病院の
緩和ケア病棟の医師や看護師、
訪問診療や訪問看護を行っている
スタッフ



5. 歯科医師から

緩和ケアを必要とされる患者さまの約8割は口腔内に何かしらの問題を抱えています。最も訴えが多い“口渇感”は、放置しておくと口腔内の感染症を引き起こし、構音障害や食欲不振にもつながります。「最期まで口から食べる」ということは、緩和ケアを必要とされる患者さまのQOLを維持するために重要であり、そのお手伝いができるよう活動しています。

VOICE

登録医の声

唐木クリニック

からき まさゆき
院長 唐木 将行



◆ 貴院のアピールをお願いします

当院は鼻の悩みから開放されることを目的とした鼻手術専門の手術クリニックです。

アレルギー性鼻炎、慢性副鼻腔炎（ちくのう症）、鼻中隔湾曲症などにより引き起こされる『鼻みず』『鼻づまり』『ニオイがしない』などのつらい症状からの開放を目指し、日々手術を行っています。

手術は全て日帰り手術にて行います。日帰り手術を行うことで、入院による、時間的、肉体的、金銭的な負担を軽減します。

◆ 当院へのご要望をお聞かせ下さい

当院は手術以外にも一般耳鼻咽喉科診療などを行っております。鼻疾患以外にも、めまいや中耳炎などの耳疾患、のどの痛みや咳などの咽喉頭疾患、ウィルス性疾患などの治療を行っております。

しかし、無床診療施設であるため入院による治療が出来ません。入院が必要な患者さまの入院加療をお願いする場合がございます。そのような重症患者さまの入院加療をよろしくお願い致します。



◆ 先生の趣味・お勧めスポットを教えてください

トライアスロン、マラソン、自転車などの身体を動かす個人競技が趣味です。

レース以外でもぜひお誘いください。



【診療科目】

耳鼻咽喉科、アレルギー科

【診療時間】

月～金 午前 9:00～12:30

午後 15:00～18:00

土 午前 9:00～12:30

【休診日】

日曜・祝日

【住所】

〒860-0817 熊本市中央区琴平本町 3-54-2

【TEL】

096-366-1187

最近のトピックス

院外心停止患者に対する水素ガス吸入療法の有効性の検討(第Ⅱ相試験:多施設介入研究)について
Efficacy of Inhaled Hydrogen on Neurological Outcome Following Brain Ischemia During out-of-hospital cardiac arrest (Phase II, multicenter, prospective, randomized, double-blind, placebo-controlled trial)
HYBRID II Study

国立病院機構熊本医療センター
救命救急センター長・救命救急部長
はらだ まさひろ
原田 正公



院外心停止は、非常に生命予後の悪いイベントの1つです。何とか生存できたとしても脳障害などのために社会復帰できる人はごくわずかであるのが現状です。心停止では循環が停止することで脳をはじめとする様々な臓器が低酸素・再灌流による障害を来し、心停止後症候群(PCAS, Post-Cardiac Arrest Syndrome)と呼ばれています。

このPCASに対しては、長い間呼吸循環管理などの支持的治療が主体でした。近年、鎮静下に体表冷却パッドや血管内冷却カテーテルなどを用いて強制的に32～36℃体温管理を行う体温管理療法(TTM, Targeted Temperature Management)が特に脳障害に対して有効であることがわかり、「低体温療法」として保険収載されています。現在多くの病院の集中治療室などで治療が行われております。しかし、TTMが広く行われるようになった以降も、その社会復帰率が劇的に改善したわけではなく、いまだに非常に予後の悪い疾患の1つです。

近年、分子状水素ガスが虚血再灌流障害に有効であることが報告されました。水素ガスはヒドロキシラジカル(OH)のみを選択的に除去するフリーラジカルスカベンジャーで、分子量が小さく優れた拡散能を有することも特長です。慶應義塾大学病院は、ラット心停止モデルを用いた実験で、水素ガス吸入が低体温療法と同等の生命予後改善効果を認めることや低体温療法と水素ガス吸入を組み合わせた治療によってさらなる脳保護効果を発揮することを報告しました。さらに同院は世界に先駆けて、急性心筋梗塞やPCASに対して水素ガス吸入療法の臨床研究(安全性試験)を行い、同療法が安全に実施可能であることを証明しました。そして、現在同院を中心として多施設共同前向き介入臨床試験が行われており、熊本医療センターもこの臨床試験に参加しております。

本臨床試験は、適格性のある患者さまを水素ガス吸入群と酸素吸入群に二重盲検で割り付けて、TTM治療を行う臨床試験です。水素ガス吸入療法は先進医療として登録されており、本試験に関わる費用は太陽日酸株式会社が負担しております。当院では現在2症例を登録しております。水素ガス吸入療法はまだ臨床試験中の治療ですが、将来多くの患者さまがこの治療を受けられるようになることを期待しております。



↑水素ガス吸入療法中の様子



↑水素ガス吸入療法を行うための専用のポンプと人工呼吸器回路

JICA 集団研修“ウイルス肝炎対策コース”フォローアップ調査を終えて ～エジプトでの C 型肝炎の現状に関する視察報告～

診療部長・消化器内科部長 すぎ かずひろ 杉 和洋



当院では国際医療協力の推進を病院の基本方針の1つとし、1988年よりJICAの依頼を受けて、発展途上国を対象に集団研修コースを開始しました。その最初の研修が“血液由来感染症 AIDS、ATL および肝炎”で、10年後の1998年に AIDS、ATL コースと肝炎コースが分かれました。2015年より“包括的なウイルス肝炎対策”としてリニューアルし、2018年2月に役目を終えました。この33年間当院で行われたすべての集団研修にエジプトから96名の研修員が参加し、肝炎コースには32名、直近3年間で20名が参加しています。

そこでエジプトを対象に、2019年10月11日より20日まで研修成果のフォローアップ調査と、肝炎対策に関する現地視察を行いました。往きは熊本から羽田、ドバイ(UAE)経由でカイロまで2日間、帰りはカイロからドバイ、成田経由で熊本まで3日間を要し、実質5日間の現地視察でした。

日程は、イスラム諸国では宗教上の理由で金曜日と土曜日が休日のため、日曜日から視察開始となりました。10月13日(日)スエズ運河大学(イスマイリア県)視察、14日(月)カイロ市内2か所の肝炎センター視察、15日(火)ベヘイラ県保健局および肝炎センター視察、16日(水)国立肝臓熱帯医学研究所(NHTMRI)でのシンポジウム、17日(木)WHOエジプト事務所・保健人口省(MoHP)・JICAの3者会談参加とJICAエジプト事務所でのフォローアップ調査報告です。

今回のフォローアップ調査により以下のことが確認できました。

- 1) エジプトからの帰国研修員のアクションプランは短期間で達成されつつある。
- 2) エジプトでの C 型肝炎はナショナルキャンペーンにより、1年間で国民1億人の80%以上が検査を受け、陽性者には治療が開始されている(検査・治療費用は無料)。
- 3) WHOによる世界的な C 型肝炎排除(elimination)は2030年を目標にしているが、エジプトでは2年後には達成が認定され、世界的なモデルとなる可能性がある。
- 4) WHOの支援に加え、当院のこれまでの肝炎対策コースがその基礎を築いてきた貢献度は大きい。
- 5) 当院が、今後何を協力できるのか?アフリカにおける B 型肝炎排除キャンペーンをエジプト中心に行う場合、JICA 第三国研修の立ち上げと実施に実績のある当院が協力できるかもしれない。

当院としてはこれまで通りエジプトならびに JICA と更なる関係を築いていきたいと思っております。このフォローアップ調査に関しては、蟻田功名誉院長、河野文夫前院長および前コースリーダーを務められた故木村圭志先生をはじめ肝炎セミナーにご協力いただいた皆様、ならびに JICA スタッフの皆様にご心よりお礼申し上げます。



2019年11月10日 JICA エジプト事務所の Facebook に掲載されました。 <https://www.facebook.com/jicaegypt/posts>

10/30 (水)

第13回
二の丸薬業連携講演会

薬



【筆者】

副薬剤部長：
花田 聖典



国立前薬局の四郎園先生より「薬業連携における保険薬局の取り組みについて」また、当院整形外科・田畑医長より「神経障害性疼痛について」をご発表いただき、有意義な研修となりました。(参加者数50名)

【場所】 研修センターホール

11/1 (金)

73期生 誓いの式

校

【筆者】 教員：橋口 清美



秋晴れの良き日、第73期生40名の誓いの式を執り行いました。ご来賓の方々、保護者、病院職員、学校職員、在校生が見守る中、緊張した面持ちの学生たちはナースから継承された灯火を掲げながら、看護を学ぶ決意を新たにしました。支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、自らの行動に責任をもち、確実な知識・技術を備えた思いやりのある看護師を目指すことを誓いました。

【場所】 研修センターホール



第25回 国立病院機構熊本医療センター-医学会の開催と演題募集のご案内

第25回国立病院機構熊本医療センター-医学会が2020年1月18日(土)に国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センターにて開催されます。

例年通り病院全体の職種が参加し発表します。

開放型病院登録医の先生方にも是非ご発表頂きたく演題募集をさせていただきます。

応募方法は演題抄録をCDRまたはUSBメモリに入れて下記宛てにご送付頂くか、e-mailにてご送信下さい。多数のご参加をお待ち致しております。

抄録提出締切日：2019年12月6日(金)

- 抄録の文字数は全体(演題名、所属、発表者、共同演者、本文)で600字以内にして下さい。
- 本文は【目的】【方法】【結果】【総括】、症例報告は【目的】【症例】【経過】【考察】にそって記述して下さい。
- 図表の使用はできません。半角カナは使用できません。
- 尚、発表は原則としてPCで、使用ソフトはパワーポイントで作成したものに限りします。
- 発表時間は6分、討論3分です。
- 参加費は無料です。

お問い合わせ・送付先：〒860-0008 熊本市中央区二の丸1番5号

国立病院機構熊本医療センター-医学会実行委員 臨床研究部長 富田正郎

TEL:096-353-6501 FAX:096-325-2519 E-mail:takahashi.kazue.ck@mail.hosp.go.jp



Step 3 躯体工事中!

外来増築棟は、最上階の7階部分まで建ち上がりました。これから外装工事も始まります。併せて、内装や電気、給排水配管等の工事も急ピッチで進められています。今後は、本館棟との接続部分も解放され工事が施工される予定です。音や振動を含め、今まで以上に本館棟への影響が多くなります。皆様にはこれまで以上にご迷惑をおかけし、またご協力をお願いすることとなり大変申し訳ありませんが、引き続きご理解とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



今後のスケジュール予定

※スケジュールは、今後の工事進捗状況によって変更する場合があります。

増築棟新築工事：Step 3

～2020年 1月

外来棟改修工事：Step 4 2020年3月～2020年12月

企画課 業務班長
安藤 隆幸
Takayuki Ando



研修医レポート

臨床研修医

中村 尋
なかむら ひろ



こんにちは、研修医1年目の中村尋です。出身は熊本の阿蘇地方で、熊本大学を卒業しました。4月から救命救急部、総合診療科、消化器内科、外科の順番で研修させていただいており、現在外科研修を行っている最中です。

スタートは救命救急部の研修だったのですが、右も左もわからない状態で実際の現場に立つことになりました。最初のうちは何をすればいいのかわからず、右往左往していた記憶があります。そんな中、先生方やスタッフの方には様々なことを教えていただき、初歩的な質問であつ

も丁寧に指導していただきました。おかげさまで、救急外来で右往左往することもなくなり、運ばれてきた患者さまの医学的問題点はどこか、それはどのように解決すべきなのか、といったことについて考える余裕も出てきました。

次に回った総合診療科では、一般的な外来診療をメインに研修しました。外来診察の基本を学び、問診と身体診察の重要性を改めて実感させられました。また、珍しい疾患や不明の症状を、病歴や身体所見、検査から診断していくプロセスについて学び、診断学の面白さというのを初めて知りました。

消化器内科では、腹部超音波検査の特技習得に励みつつ、指導医の指導のもと病棟管理を任せられました。入院中の患者さまの中でご飯が食べれない人の点滴はどうするのか、食事を再開するのはいつぐらいからが良いのかなど、様々なことを自分で考えて決定していくことでたくさんの学びがありました。

現在外科研修中ですが、手術にたくさん参加させていただき、毎日刺激のある研修生活を送っています。

この5ヶ月間、指導医の先生方や各診療科の先生方、医療スタッフの方々になくさんお世話になりながら充実した研修の日々を送らせていただきました。研修期間はあと1年以上ありますが、この環境に感謝しつつ残りの期間、精一杯頑張つて少しでも皆様のお役に立てたなあと考えています。ご指導よろしくお願ひします。

臨床研修医

古島 京佳
ふるしま きょうか

こんにちは、研修医1年目熊本大学出身の古島京佳と申します。今年の4月から熊本医療センターでの初期臨床研修が始まって早くも半年の月日が経ちました。4月から、糖尿病内分泌内科・外科・腎臓内科・消化器内科と4つの科を回りました。1診療科につき7週間という期間でやっと慣れた頃にローテートしてしましますが、おかげさまで科が変わるたびに目新しく、充実した学び多い毎日を送らせていただいております。

熊本医療センターでは日々の診療科の研修に加えて、月4回程度の日勤や夜勤、準夜勤などの救急当番があります。5月から救急当番を行っていますが、今でも、救急外来当番の時間が近づくと緊張します。一息つく間もなく軽症から重症まで様々な患者さまがいらっしやっ、あっという間に時間が過ぎます。当初は何も分からないまますぐに胸腹部CTを撮影したり、スクリーニング的に過剰な血液検査を行ってしまったりしていました。この頃は、ご指導いただいた先生や看護師さんのおかげもあって、自分で診察をして鑑別診断を挙げ、検査のオーダーを出して予想していた所見が出る楽しさが徐々にわかり、あんなに億劫だった救急外来も少し楽しみになってきたところです。

半年が経ってもまだまだ慣れないところばかりで指導医の先生方や、コメディカルスタッフの方々、ほかの研修医の先生方などたくさんの方々にご迷惑をおかけすることも多いと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

臨床研修医

東海 達也
とうかい たつや



研修医1年目の東海達也と申します。出身は熊本県で熊本大学医学部を卒業し、本年度より当院にて初期臨床研修をさせていただいております。新しいことばかりですが、様々な方に助けていただき、慌たしい毎日に焦りと同時に充実感を感じながら、働き始めて5ヶ月で3つの科を回らせていただきました。

まず、1つ目は腎臓内科です。初めて回る科であったため、カルテの使い方等の事務仕事を学ぶことが主軸であったと思います。学生同然の私に面倒臭がらずに、臨床現場で多くのことを任せてくださり、成功・失敗に関わらず丁寧な指導をしてくださいました。

2つ目は呼吸器内科でした。事務仕事に少し慣れてきたところで、どのくらいの間隔で検査を実施して、どのような項目を解釈するのか。そして、どういう薬剤や治療を実施するのかといった医師としての診療の流れを経験させていただきました。また、実際の内容としては、どの科でも日常的に直面する可能性のあるものばかりで勉強になりました。

3つ目は外科でした。学生の時の外科での実習は、手術に入って遠くから見るのが主軸だった印象でした。研修医として担当の患者さまを持ち、術前管理、手術の手伝い、術後管理、退院までと病気でなく人を診るという流れだったため、積極的に取り組むことができました。特に、術後疼痛に対して、どう対応し、患者さまの苦痛を取り除くかについて考えさせられました。

毎日分からないことの連続ですが、周囲の人に暖かく支えられて充実した日々を送れているように感じると同時に感謝の気持ちでいっぱいです。これからご迷惑をおかけしますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

基本理念

最新の知識・医療技術と礼節をもって、
良質で安全な医療を目指します。

運営方針

1. 良質で安全な医療の提供
2. 政策医療の推進
3. 医療連携と救急医療の推進
4. 教育・研修・臨床研究の推進
5. 国際医療協力の推進
6. 健全経営

患者様の権利

1. 良質かつ適切な医療を公平にうける権利があります
2. ご自身の医療について理解しやすい言葉と方法で十分な説明と情報を受ける権利があります
3. 病院から説明と情報を得た上で、自らの意志で治療を受け、あるいは選択し、拒否する権利があります
4. 自分の診療記録の開示を求める権利があります
5. セカンド・オピニオンを求める権利があります
6. 個人としての人格の尊重とプライバシーの保護を受ける権利があります

2019
12月

研修日程表

国立病院機構熊本医療センター
地域医療研修センター
(096) 353-3515 (直通)

研修日程表への
問い合わせはこちら
研修センター QR コード▶



※二の丸モーニングセミナーにつきまして、詳細はホームページ (<https://kumamoto.hosp.go.jp>) をご参照ください。

12月	研修センターホール	研 修 室
1日(日)		
2日(月)		
3日(火)		
4日(水)		
5日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
6日(金)		
7日(土)	15:00~17:30 第27回 診断と治療 -最新の基礎公開講座-	
	「リンパ浮腫の診断と治療」[日本医師会生涯教育講座2.0単位認定]	
	座 長 魚返外科胃腸科医院 院長 魚返 英寛 先生	
	(1) リンパ浮腫の検査と外科治療	国立病院機構熊本医療センター形成外科部長 大島 秀男
	(2) リンパ浮腫の大敵、蜂巣炎について	国立病院機構熊本医療センター皮膚科部長 牧野 公治
7日(土)	(3) 桜十字熊本東病院における複合療法の実際	桜十字熊本東病院リンパドレナージセラピスト/看護師長 木山 千恵 氏
	(4) 熊本県におけるリンパ浮腫ケアの状況	国立病院機構熊本医療センターがん看護専門看護師/ リンパ浮腫複合的治療技術者 安永 浩子
8日(日)		
9日(月)		
10日(火)		
11日(水)		
12日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
13日(金)		
14日(土)		
15日(日)		
16日(月)		19:00~20:30 第250回 月曜会 (内科症例検討会)(研修室2) [日本医師会生涯教育講座1.5単位認定]
17日(火)		
18日(水)		
19日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
	14:00~15:30 第81回 市民公開講座 「インフルエンザを上手に防ごう」 国立病院機構熊本医療センター感染制御室長 水上 智之	
20日(金)		
21日(土)	14:00~16:00 公開肝臓病教室 「もっと知りたい肝臓の話」	
22日(日)		
23日(月)		
24日(火)		
25日(水)		
26日(木)	8:15~8:45 二の丸モーニングセミナー	
27日(金)		
28日(土)		
29日(日)		
30日(月)		
31日(火)		



患者さまについてのご相談は地域医療連携室直通電話をご利用ください。

地域医療連携室直通電話

096-353-6693

直通 FAX 096-323-7601

受付 平日 8:30 ~ 17:00

熊本医療センター
地域医療連携室副室長

とみたか えつし
富高 悦司



患者さまをお待たせしないために

ご紹介は、外来紹介予約センター

受付 平日 8:30 ~ 17:00

をどうぞご利用ください。

096-353-6565 096-353-6566

FAX
096-353-6563



国立病院機構
熊本医療センター
地域医療連携室室長
菊川 浩明

令和元年 12月外来担当医名簿

国立病院機構熊本医療センター



診療科		月	火	水	木	金
総合医療センター (内科)	総合診療	辻 隆宏 吉村 文孝	辻 隆宏 吉村 文孝	辻 隆宏 吉村 文孝 國友 耕太郎	辻 隆宏 吉村 文孝	辻 隆宏 吉村 文孝
	血液	日高 道弘 河北 敏郎	原田 奈穂子 三井 士和	榮 達智 井上 佳子	日高 道弘 平野 太一	原田 奈穂子 窪田 晃
	糖尿病・内分泌	西川 武志(午前新患) 小野 恵子(午前再診)	小野 恵子(午前新患) 西川 武志(午前再診)	西川 武志(午前新患) 橋本 章子(午前再診)	木下 博之(午前新患) 吉永 智昭(午前再診)	橋本 章子(午前新患) 木下 博之(午前再診)
	呼吸器センター	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)	(午前紹介のみ) 原 英記	(午前のみ) 名村 亮	(午前のみ) 小野 宏 熊大医師(院内コンサルト)
	感染症内科		(午前のみ)小野 宏			(午前のみ)小野 宏
	腎センター(腎臓内科)	梶原 健吾	富田 正郎 伊達 亮佑	中村 朋文	山本 紗友梨	富田 正郎
	腫瘍内科	境 健爾 山本 春風	境 健爾 榮 達智	境 健爾 磯部 博隆	境 健爾 山本 春風	境 健爾 磯部 博隆
消化器病センター (消化器内科)	診 察	石井 将太郎 松山 太一 富口 純	杉 和洋 中田 成紀 久木山 直貴	杉 和洋 石井 将太郎 志茂田 美紀	杉 和洋 松山 太一 久木山 直貴	上野 茂紀 中田 成紀 富口 純
	内視鏡	午前 久木山 上野 午後 中田 久木山 上野(志茂田)	石井 志茂田 松山 上野 志茂田(石井)	松山 上野 岡本 中田 富口 上野(松山)	中田 富口 志茂田 石井 富口 志茂田	石井 松山 松山 久木山 志茂田
	腹部超音波	杉 中田 志茂田	松山 富口 上野	中田 久木山 富口	石井 上野 岡本	杉 久木山 志茂田
	心臓血管センター (循環器内科)	診 察	藤本 和輝 白尾 友宏 松川 将三(新患)	田山 信至 康弘(隔週 新患) 中嶋 直也(隔週 新患)	松川 将三 松原 純一(新患)	大塚 康弘 中嶋 直也 藤本 和輝(新患)
(心臓血管外科)	手術日	岡本 実	岡本 実 田中 睦郎	手術日	岡本 実	
精神・神経科	初めの方	満崎 晃志	山下 建昭	山下 建昭	満崎 晃志	山下 建昭 平原 信雄
	2回目からの方	山下 建昭	満崎 晃志		山下 建昭	満崎 晃志 橋本 聡 平原 信雄
小児科	診察	水上 智之 北村 由希子	岡田 拓巳	水上 智之 岡田 拓巳	水上 智之	岡田 拓巳 北村 由希子
	免疫	水上 智之		水上 智之		
	アレルギー		緒方 美佳		緒方 美佳 平井 奈美	平井 奈美
外科		藤木 義敬 小澄 敬祐	水元 孝郎 井上 光弘	美馬 浩介	宮成 信友 井上 光弘	久保田 童生
脳神経センター (脳神経外科)		大塚 忠弘 中川 隆志	手術日	大塚 忠弘 武末 吉広	中川 隆志	大塚 忠弘 水上 秀紀
	(脳神経内科)	幸崎 弥之助	小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元	幸崎 弥之助 小阪 崇幸	天野 朋子 津田 幸元
整形外科	初めの方 (午前)	福元 哲也 平井 泰博 田畑 聖吾	手術日	福元 哲也 前田 智 田畑 聖吾	手術日	前田 智 中馬 東彦 松下 任彦
	再診予約の方 (午後)	福元 哲也 平井 泰博 (橋本 伸朗)		松下 任彦 唐田 宗一郎 (橋本 伸朗)		中馬 東彦 相馬 史朗
泌尿器科		前田 喜寛 鮫島 智洋	菊川 浩明 矢野 大輔 近浦 慶太	担当医 (手術日) (紹介のみ)	前田 喜寛 銘苅 晋吾 西澤 秀和	菊川 浩明 矢野 大輔
産婦人科		三森 寛幸 高木 みか	西村 弘 山本 文子	山本 文子	高木 みか 下川 理沙	西村 弘 下川 理沙
感覚器センター (眼科)		榮木 大輔 宮崎 洋子 下田 健文	(手術日)	榮木 大輔 宮崎 洋子 下田 健文	(手術日)	榮木 大輔 宮崎 洋子 下田 健文
感覚器センター (耳鼻咽喉科)		手術日	上村 尚樹 竹本 梨紗	手術日	外来検査日 (完全予約制)	上村 尚樹 竹本 梨紗
感覚器センター (皮膚科)	初診(紹介あり)	城野 剛亮	牧野 公治	島田 佳奈子	西 葉月	島田 秀一
	再診 (初診 無紹介)	島田 佳奈子 城野 剛亮	西 葉月 牧野 公治	島田 秀一 島田 佳奈子	城野 剛亮 西 葉月	牧野 公治 島田 秀一
形成外科		(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹	(午 後) 担当医 (紹介のみ)	手術日	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 (自費診療) 前山 徹	(午 後) 大島 秀男 東野 哲志 前山 徹
放射線科	治療(予約制)	富高 悦司、 幸村 絃子、 松本 忠士				
	画像診断	吉松 俊治、 浅尾 千秋、 伊藤 加奈子、 根岸 孝典、 柏木 寧				
麻酔科	宮崎 直樹 (術前診察/麻酔相談)		光田 祐樹 (麻酔相談)		古庄 千代 (麻酔相談)	
緩和ケア外来		磯部 博隆	榮 達智	磯部 博隆	磯部 博隆	磯部 博隆
歯科 口腔外科		中島 健 谷口 広祐 森 久美子 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 森 久美子 中川 文雄 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 森 久美子 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 森 久美子 中川 文雄 中尾 美文	中島 健 谷口 広祐 中尾 美文
救命救急センター		原田 正公、 北田 真己、 櫻井 聖大、 洪沢 崇行、 清水 千華子、 山田 周、 狩野 亘平、 江良 正、 橋本 聡、 樋 直晃、 深水 浩之、 山本 太平、 松尾 悠史、				
看護外来	ス टीम	吉村 文孝		木村 文彦	田中 拓道	宮内 大介
	がん看護	専門看護師(午前)	認定看護師	認定看護師	認定看護師	認定看護師
	移植後フォローアップ	専門看護師(他)	専門看護師	専門看護師	専門看護師	専門看護師
薬剤師外来	がん化学療法	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師	薬剤師

(注)担当医は都合により変更することがあります。 手術日はお待たせする場合がございますので、御了承ください。

R1/12/1